

企画展示

科学雑誌と 家電でたどる 日本の150年

2015年5月25日(月)～8月22日(土)

前期 江戸末期～1950年代 5/25～7/14 後期 1960年代～現代 7/15～8/22

会場 千代田図書館 9階 展示ウォール

主催：千代田図書館、科学技術館、東京理科大学 近代科学資料館、Gakken

より豊かなくらしを求めて、人はいつも新しいモノをつくってきました。
その積み重ねのひとつが家電となって、私たちに快適で便利な生活をもたらしています。

それらに含まれる科学の原理や技術のしくみは、学校教育や科学館・博物館を通して
また、本・雑誌・テレビ番組などを通して、私たちに伝えられ、未来の科学者を育ててきました。

今では、便利で豊富な製品によって、暮らしの中で不自由や不便を感じることは極めて少なくなってきました。

その反面、科学や技術は一層ブラックボックスとなって見えにくくなり
しくみや原理を知る必要と機会はことごとく減っています。

私たちは、最先端の製品やサービスを便利に使えれば、それでいいのでしょうか。
この展示では、科学の知識を広く伝えてきた総合的な科学雑誌をパネルで紹介しながら
身近な家電を題材に科学と技術の進歩をたどります。

また、科学に関する本を貸出用としてご用意するほか、懐かしの科学雑誌やふろくも展示します。

科学や技術は、わたしたちのライフスタイルをどう変化させてきたのか？

そしてこれから、どんな未来をつくるのか？

夏休みに、親子で考えてみませんか。

展示関連トークイベント

元編集長が語る、学研「科学のふろく」開発裏話

日時 7月28日(火) 19:00～20:30

講師 湯本博文さん(学研科学創造研究所 所長)

会場 千代田図書館9階 特設イベントスペース

詳しくはチラシ裏面をご覧ください

展示関連イベント

展示関連トークイベント

元編集長が語る、学研「科学のふろく」開発裏話

「科学と学習」は、1979年に670万部という驚異的な発行部数を誇った雑誌です。『6年の科学』の元読者だった私は、この付録が作りたくて学研に入社。紆余曲折の末、付録の開発に携わったのですが、やってみると大変なことの連続でした。その奮闘ぶりを、実物や試作、失敗作までご覧いただきながら熱く語りしたいと思います。



ゆもと・ひろふみ。早稲田大学卒業後、(株)学習研究社入社。学年別科学雑誌『〇年の科学』シリーズの企画・編集に携わり、編集長を歴任後、『大人の科学』シリーズの開発を担当。現在、学研科学創造研究所所長及び板橋区立教育科学館名誉館長。各種講演やTV番組など幅広く活動中。

日時：7月28日(火)

19:00~20:30(18:30開場)

講師：湯本博文さん(学研科学創造研究所 所長)

会場：千代田図書館9階

特設イベントスペース

席数：50席(参加無料・事前申込制・先着順・立ち見可)

申し込み方法

①電話:03-5211-4289・4290

②千代田図書館10階カウンター

(①②は平日10時~18時)

③千代田区立図書館ホームページより

Web申し込み

(③は貸出券をお持ちの方のみ)

受付開始日時:6月22日(月)10時

会場案内

千代田区立 千代田図書館

東京都千代田区九段南1-2-1 千代田区役所本庁舎内

電話 03-5211-4289・4290

アクセス 東京メトロ東西線・半蔵門線、都営新宿線
「九段下」駅下車4番または6番出口から徒歩5分

開館時間 月~金 = 10:00~22:00
土 = 10:00~19:00 ※7月18日(土)~8月31日(月)は 9:00より開館
日・祝 = 10:00~17:00

定期休館日 毎月第4日曜日 ※展示期間中の休館日:6月28日(日)、7月26日(日)



科学技術館

わたしたちの生活をちょっと振りかえってみると、いろいろな科学や技術の積みかさねがあることに気がきます。科学技術館は、見て・触って・からだ全体を使って体感し、自分の知識や興味に応じて楽しみながら科学と技術に興味・関心を深めていただけるようになっています。

開館50周年を記念して、2015年8月8日(土)~8月30日(日)(予定)に家電など身近な生活で活躍する産業技術のこれまでとこれからを体感する特別展を開催します!

- 開館時間：9:30~16:50(入館は16:00まで)
 - 入場料：大人720円、中高生 410円、子供(4歳以上) 260円
 - 休館日：水曜日(春休み、科学技術週間、ゴールデンウィーク、夏休み、都民の日、11月~2月を除く)、年末年始
- 〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2番1号
電話 03-3212-8544 <http://www.jsf.or.jp/>



東京理科大学 近代科学資料館

1991年に開館し、以下3つの常設展示と、大学の研究等を紹介し科学啓蒙を目的とした「特別企画展示」を開催しています。(1)計算機の歴史：江戸時代の算木、そろばん、計算尺、手動式計算機、機械式微分解析機、リレー計算機、電卓、大型コンピュータ、パソコンなどの日本一の計算機コレクション(2)録音技術の歴史：エジソン蓄音器、初期のテープレコーダーなど(3)東京物理学校の歴史：創設期の資料、実験器具などです。神楽坂通りのそばの落ち着いた雰囲気の中、今日までの近代科学の発展の歴史をご覧いただけます。

- 開館時間：10:00~16:00
 - 入場料：無料
 - 休館日：日曜・月曜・祝日・大学の休業日(8月中旬及び年末年始の一斉休暇期間を含む)
- 〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3
電話 03-5228-8224 FAX 03-5228-8116 <http://www.tus.ac.jp/museum/>

